

令和4年度

# 天塩川シーニックバイウェイ 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 天塩川シーニックバイウェイ		報告者: 天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議					2023/5/8	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R4					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
景観	自然環境と地域特性を活かした魅力ある景観づくり	広域的で良好な周遊観光ルートの形成 (主に、ルート内での取組み)	メインコース周辺の景観整備	実施なし	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各市町村単位にて、沿道の花植えを実施し、安心・安全・快適なおもてなしの道づくりを目指し、継続的に実施。</li> <li>●コロナによる感染拡大防止対策を考慮しながら、各地域で花植えや清掃活動が実施された。</li> <li>●幌加内町の秀逸な道周辺(そばの花ビューポイント)を官民協働により除草作業、ゴミ拾いを行った。</li> </ul>
			ルートの景観診断	実施なし	-	-	-	
			花植え活動、除草、清掃活動	各団体にて(市町村、観光協会、商工会、地域団体等)	夏期:6月~10月末頃	各地域により	-	
地域	地域特性と歴史・文化を活かした地域づくり	歴史・文化と森林文化の活用	森林資源の活用	実施なし	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本年度はガイド育成などの研修会等はないが、地元でのサイクリストも増えてきているため、今後もサイクルガイドの広がりに期待し、地域ガイドの発掘・育成は行いたい。今後はルート内のガイドを登録しHPなどで紹介するなど、広めていく工夫を行う。</li> </ul>
			地域ガイドの発掘・育成	実施なし	-	-	-	
			「森林」&「水」の教育(ミズベリング)	実施なし	-	-	-	
			「松浦武四郎」にまつわる地域の文化伝承(武四郎ライド)	なよろ観光まちづくり協会	10月開催	参加者30名	-	
観光	きた北海道エコ・モビリティ事業の推進 (主に、ルート内外を視野に入れた取組み)	きた北海道エコ・モビリティ事業の推進 (主に、ルート内外を視野に入れた取組み)	TEPPEN-RIDE 5thの実施	ルート運営代表者会議、宗谷シーニックバイウェイ(きた北海道エコ・モビリティ)	9月22日~24日	-	T - 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3年ぶりの開催となった「TEPPEN-RIDE」の5回目記念を実施できた。本年度は、北海道サイクリング協会との連携による「北海道縦断ライド」もでき、襟裳岬から旭川までの「とんがりロードライド」とあわせて約700kmを完走した方が3名いた。</li> <li>●速さなどを競う大会ではなく、シーニックならではの”おもてなし+地域交流”などをメインとしたサイクリングイベントのため、一度参加された方々のリピーターも多く、年々道外からの参加者も増え、次年度以降の開催を期待する声も戴けた。</li> <li>●旭川を含むコース設定であることや本エリアのコースのナショナルサイクルルートを目指していくためにも、次年度以降は、きた北海道サイクルツーリズム連絡会議が主催となって開催することを目指す。</li> <li>●きた北海道エコモビリティのサイトでの情報発信を行った。</li> <li>●今年度は、新たな情報拠点はなかったが、情報が入手しやすい主要地点となる場所での情報拠点の設置を引き続き検討したい。また、シーニックカフェ・シーニックデッキ等への登録をするなど、快適にルート内周遊に向けた取組みも強化していきたい。</li> </ul>
			情報発信の強化(きた北海道エコモビリティサイトでの情報発信)	ルート運営代表者会議、宗谷シーニックバイウェイ(きた北海道エコ・モビリティ)	通年	-	-	
			ブランド化を目指した広報物の作成(道北パンフレットの配布)	ルート運営代表者会議	通年	-	-	
			勉強会等の開催(道北ブランディングWS)	実施なし	-	-	-	
	地域産業と特性を活かした広域的な観光空間づくり	ルート内連携による情報発信	ルートオリジナルロゴの活用	ルート運営代表者会議	通年	-	-	
			情報発信の強化(マップの作成)	ルート運営代表者会議、道北観光連盟	通年	-	-	
			各地イベントでのルートPR(ほろかない新そば祭り)	ルート運営代表者会議、旭川開発建設部、他	-	-	T - 2	
			情報拠点の設置(よろーな)	ルート運営代表者会議	通年	-	-	
			シーニックカフェ	ルート運営代表者会議	通年	-	-	
			「道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展	天塩川シーニックバイウェイ ルート運営行政連絡会議	7月5日~7月12日 駅前交流プラザよろーな 9月3日・4日 新そば祭り会場	-	-	
	地域産業の活用	ご当地グルメの開発	実施なし	-	-	-		
		道の駅との連携	実施なし	-	-	-		
	広域的で良好な周遊観光ルートの形成 (主に、ルート内での取組み)	メインコースの設定	実施なし	-	-	-		
		ツアーの実施	実施なし	-	-	-		

# 天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：TEPPEN-RIDE 5thの実施  
(きた北海道エコ・モビリティ事業の推進)

【概要】 広域連携によるサイクリングイベント「TEPPEN-RIDE」は、天塩川ルートと宗谷ルートを結ぶ約315kmのコースを、3日間走り続けるイベントとして過年度までに、4回開催(\*年1回)し、様々な団体・企業等との連携を広げながら、継続的に実施してきた。おもてなし溢れる企画内容に、年々参加者も増え、リピーターによる期待も高く、また、地域の魅力を伝えながら安全に案内できる地域サポートライダーも増えてきた。

本年度は、これまでの実施内容の見直し等を行い、準備を進め、5回目の記念開催となった。また北海道サイクリング協会との連携を試み、北海道の南・えりも岬から旭川までの距離を走る「とんがりロードライド」から、旭川から宗谷岬までを繋げる<北海道縦断ライド>の初開催となった。両イベントで相互に参加募集を行い、地元の旅行会社からツアー商品として販売、縦走すると約700kmあるが、3名が縦走を達成した。

次年度も工夫した内容での継続実施を目指す。

【日時】 TEPPEN-RIDE 9月22日(木)~24日(土)

とんがりライド 9月18日~21日

【主催】 天塩川ISBW・宗谷SBW

【共催】 きた北海道サイクルツーリズム連絡会議、  
(一社)シーニックバイウェイ支援センター



とんがりライドと繋がる  
縦断ライドのコースマップ



「北海道縦断」のタスキを  
とんがりガイドから  
TEPPENガイドへ。

途中でパンクしても超速で  
修理終了。自転車屋さんか  
メカニックサポートで帯同  
しているのも、TEPPEN  
の魅力の一つ。



開発局、旭川市、振興局の方もきてくださり、にぎやかにスタート。とんがりライドの参加者の方々も、駆けつけてくださいました。



「TEPPEN-RIDE 2022 5th Anniversary」  
開催の募集チラシ。右下に縦断ライドをお知らせ

# 天塩川シーニックバイウェイ

Teshio River Scenic Byway

活動名：各地イベントでのルートPR  
(ルート内連携による情報発信)

【概要】 幌加内町は、日本一のそば生産量を誇り、そば畑の風景を観光資源として、様々な取組みが行われている。町の一大イベントである「新そば祭り」には、毎年、2日間の開催で道内外から約4万人が訪れるほど、道北地域をみても他に類を見ないほどの集客力のあるイベントである。また、「そばの花ビューポイント」(国道275号他)は『秀逸な道』に認定されており、官民連携により沿道景観向上に向けた地域活動が積極的に行われている。

そこで、天塩川シーニックバイウェイの地域資源や活動とあわせて、『秀逸な道』の紹介、シーニックバイウェイ全体の周知徹底及びルート活動への理解を深めることを目的に、新そば祭りの会場でPR展示を実施した。多くの方に立ち寄っていただき、今後の取組みの参考となる意見等をいただけた。

次年度以降もイベント等の開催にあわせて情報発信を行っていきたい。

## ■内容

- ・『秀逸な道』紹介パネルとパンフレット
- ・道北フォトコンテスト優秀作品 パネル展
- ・天塩川シーニックバイウェイのパンフレット
- ・TEPPEN-RIDE参加募集 など

【実施】 2022年9月3日(土)・4日(日) 9:00~15:30

【場所】 幌加内町 新そば祭り2022 幌加内そばパネル展会場



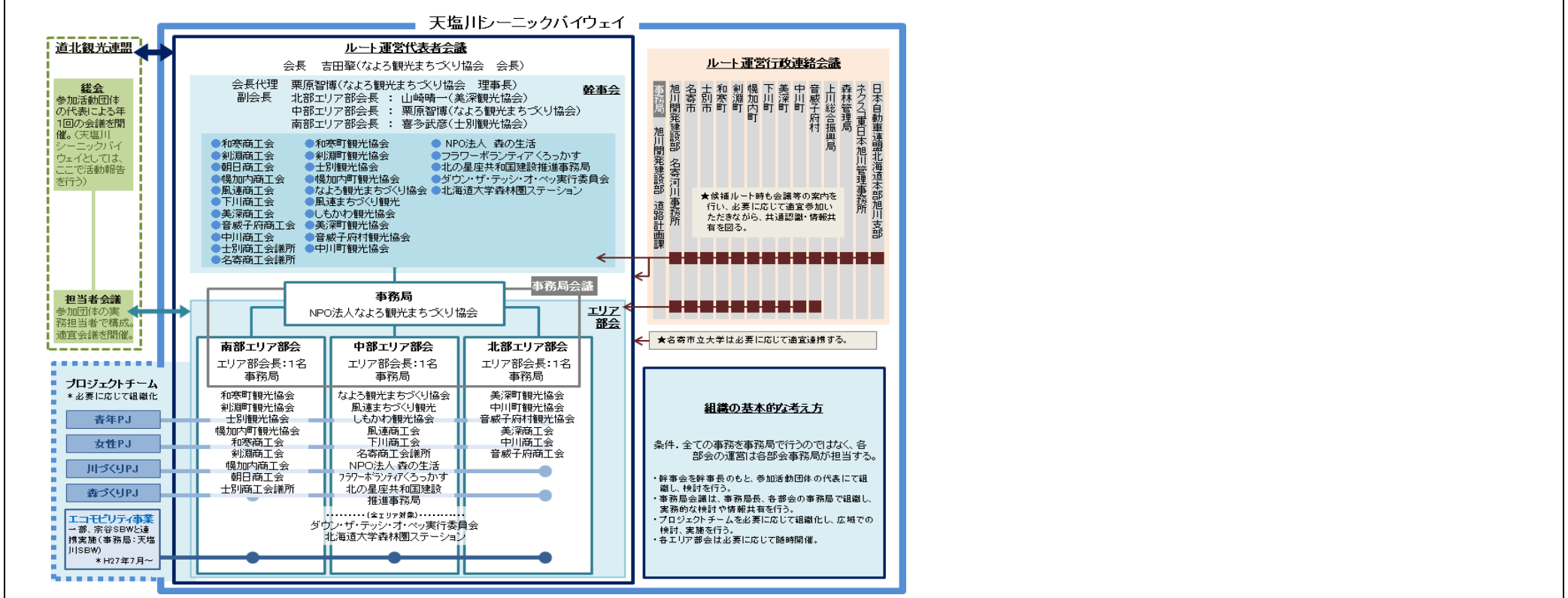
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 天塩川シーニックバイウェイ	報告者: 天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議	報告年月: 2023/5/8
----------------------	------------------------------	----------------

活動団体

和寒町観光協会／和寒町商工会／剣淵町観光協会／剣淵町商工会／士別観光協会／士別商工会議所／朝日商工会／幌加内町観光協会／幌加内町商工会／NPO法人なよろ観光まちづくり協会／NPO法人風連まちづくり観光／名寄商工会議所／風連商工会／NPO法人しもかわ観光協会／下川町商工会／美深町観光協会／美深町商工会／音威子府村観光協会／音威子府村商工会／中川町観光協会／中川町商工会／NPO法人森の生活／フラワーボランティアくろっかす／北の星座共和国建設推進事務局／ダウン・ザ・テッシン・オ・ベツ実行委員会／北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション

ルート運営体制(活動団体)



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に関わる事項	ルート運営代表者会議			●6月 【書面開催】										※コロナの影響により開催時期等の延期、及び、書面による開催に変更などあり
	ルート幹事会、事務局会議													
	ルート担当者会議													
	その他	●4/26 道北フォトコン 会議 【リモート】	●5/16 TEPPEN-RIDE 担当者会議 【リモート】		●7/14 ルートきた北海道サイクル ツーリズム連携協議会	●8/2 TEPPEN-RIDE 担当者会議 【リモート】	●9/3・4 ルートPRパネル展 示 ●9/22-24 TEPPEN-RIDE実施 (宗谷SBWと連携)		●11/11 道北ブロック会議、 道北フォトコン会議 ●11/17 きた北海道サイクル ツーリズム連携協議 会 コアメンバー会議		●2/22 NORIに向けた意見 交換会(天塩川、宗 谷)			

ルート名称: 天塩川シーニックバイウェイ      報告者: 天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議      報告年月: 2023/5/8

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に関わる事項	行政連絡会議・協働型道路管理 マネジメント会議の実施		●5月～ 3回刈除草対策 <記録> (推進プラン)		●7/14 幌加内官民協働の 除草作業実施 (推進プラン)		●9/14・15 ベンチカラー統一 (推進プラン)	●～10月末 3回刈除草対策 <記録> (推進プラン)		●12/23 景観点検意見交換		●2/15 幌加内景観検討会 (協働型道路マネ検 討会) ●2月上旬 上川北部協働型道 路マネ検討会 【アンケート】		※コロナの影響により開催時期等の延期、及び、書面による開催に変更などあり

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:天塩川シーニックバイウェイ	報告者:天塩川シーニックバイウェイルート運営代表者会議	報告年月: 2023/5/8
---------------------	-----------------------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	令和2年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	自然環境と地域特性を活かした魅力ある景観づくり	そばの花ビューポイントの除草・清掃作業(幌加内)	7/14(金)	旭川開発建設部、幌加内町(住民、農家、観光協会、自治体等):計50名弱	地域で設定したそばの花のビューポイントのうち、国道275号において、沿道の除草作業を地域と時期を調整して道路管理者の機械除草を行った。時期調整により、同時期に雑草のない美しい景観が広がる効果が見られた。また、実施区間の町道も含めた内容で「秀逸な道」として申請、2021年4月に認定された。今後は地域と協働で進められることを検討しつつ、より一層情報発信に力を入れる。	ルート(地域)の動向や意向をくみつつ、沿道の景観向上に向けて、必要な箇所をピックアップし、できることから優先順をつけて実施していきたい。	
地域	地域特性と歴史・文化を活かした地域づくり	「秀逸な道」に関する情報発信	通年	旭川開発建設部、天塩川シーニックバイウェイ、幌加内景観検討会、他	幌加内町のそばの花ビューポイントを含む国道275号と町道为天塩川SBWで「秀逸な道」に認定された。認定後、「秀逸な道」の広報PRとして、コースや周辺観光施設を含めた広報媒体となるパンフレットを作成し、ルートや幌加内町を中心に配布した。今年度は内容の見直しを行い、更新版を作成した。また、旭川開建のサイトに「秀逸な道」を紹介するページを作成し作成したパンフレットをダウンロードができるよう工夫した。	ルート側でもパンフレットの配布協力をしていただいた。幌加内町役場では、パンフレットの紹介を含めた「秀逸な道」に関する頁を作成し、少しずつ地域でも周知していく姿勢が広まってきているように感じた。	
観光	地域産業と特性を活かした広域的な観光空間づくり					きた北海道サイクルツーリズム連携協議会に関する資料作成・とりまとめ、会議等への参加	7月～3月
その他		「道北シーニックバイウェイ連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展による広報活動	7月5日～7月12日 駅前交流プラザよらーな 9月3日・4日 新そば祭り会場	旭川開発建設部、名寄市、幌加内町	旭川開発建設部は、駅前交流プラザよらーな(7月5日～12日)、ほろかない新そば祭り会場(9月3日～4日)にて、「道北ルート連携フォトコンテスト」の入賞作品パネル展を実施した。シーニックバイウェイの美しい道・風景等をPRするとともに、ドライブ情報紙「シーニックバイウェイ」等も配布し、多くの方にSBWの取り組みをPRできた。	次年度以降も継続的に実施していく。	